

CARVIN

TS100

TUBE POWER AMPLIFIER

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は CARVIN TS100 をご購入いただき、誠に有難うございます。

TS100 ステレオ・チューブ・パワーアンプは、太く、暖かみのある真空管のサウンドを余すことなく表現することを目的として設計されました。

4 本の EL34 パワー管は、ステレオ 50W×2、もしくはモノラルブリッジで 100W の出力を発揮します。

製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損や欠品がないか確認してください。異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないでください。
3. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。
4. AC100V-120V、50/60Hz にてご使用ください。
5. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意してください。
6. ヒューズを交換する場合は、同じ仕様のヒューズをご使用ください。

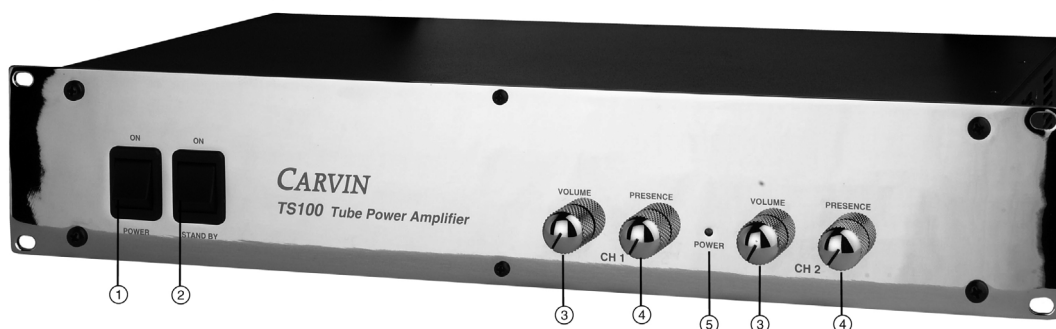
故障が生じた場合はお手数ですが販売店にご連絡ください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

クイックスタート

使用する前に、マニュアルを読んで、アンプの仕様について詳細までご確認ください。

1. アンプの入力チャンネルにプリアンプからの信号を入力し、アンプのスピーカー出力端子にスピーカーケーブルを接続します。
2. リアパネルのインピーダンスセレクターを使用してスピーカーのインピーダンスに合わせてください。全てのボリュームを下げて、電源スイッチを入れてください。
3. 2-3 分ほどしてチューブが暖まってから、スタンバイスイッチを入れ、ボリュームを上げてください。

フロントパネル



1. 電源スイッチ

メイン電源をオン/オフするスイッチです。

2. スタンバイスイッチ

メイン電源をオンにしたあと、2-3 分ほど時間を置いてチューブを暖めてから、スタンバイスイッチを入れてください。アンプの電源を切るときには、スタンバイスイッチをオフにしてから電源スイッチをオフにしてください。

3. ボリューム

ボリュームを調整するツマミです。プリアンプの出力と TS100 の出力レベルのバランスも調整してください。

※備考：ブリッジモードの時は、チャンネル1がマスターボリュームになります。チャンネル2のボリュームは機能しません。

4. プレゼンス

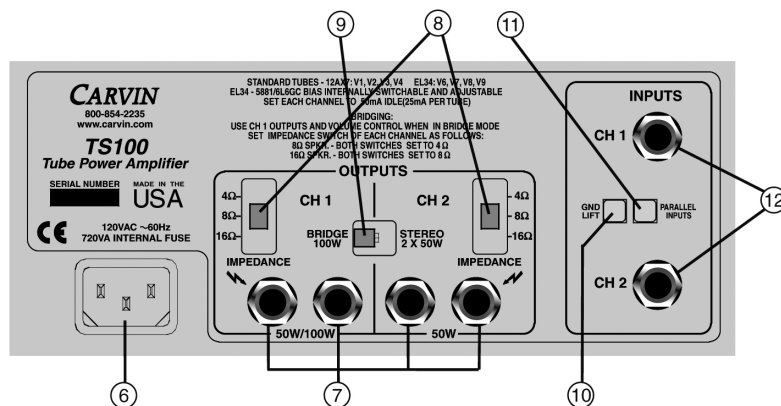
6kHz 辺りの周波数を調整することによって、よりクリアできらびやかなトーンを得ることができます。ツマミを完全に下げると、周波数特性はフラットになります。ツマミを上げると高域の周波数をブーストすると、より抜けの良い音になります。

※備考：ブリッジモードの時は、チャンネル1と2のプレゼンスツマミは、同じ位置になります。

5. 電源 LED

電源を入れると、青い LED が点灯します。

リアパネル



6. 電源ケーブルソケット/ヒューズ

電源ケーブルを差し込むソケットです。表示の電圧、ヒューズの値が正しいことを確認の上、電源ケーブルをしっかりと差し込んでください。ヒューズは本体内部にあります。交換の際には、同じサイズ/仕様のヒューズを使用してください。

7. スピーカー出力端子

各チャンネルにスピーカーキャビネットを接続する標準フォン端子です。各端子は、並列に配線されています。各チャンネルに応じてインピーダンス・スイッチを設定してください。各チャンネルの合計インピーダンスが 4Ω 以下にならないようにして下さい。

※備考：ブリッジモードの時、チャンネル 1 の出力端子は、接続するスピーカーの各インピーダンスの半分に設定してください。

8. インピーダンス・スイッチ

接続するスピーカーに合わせて、インピーダンス・スイッチを使用してください。このスイッチは、接続する各チャンネルのスピーカー出力に接続する負荷と同じになるように接続してください。このスピーカー出力端子は並列接続のため、8Ω のスピーカーを 2 台接続した場合、チャンネルのインピーダンスは、4Ω となります。同様に 16Ω のスピーカーを 2 台接続した場合、インピーダンス・スイッチは 8Ω になります。

※備考：ブリッジモードで使用している時、各チャンネルのインピーダンス・スイッチは、それぞれのインピーダンスの半分に設定してください。もし、16Ω のスピーカーを使用している場合、各チャンネルは 8Ω に設定して下さい。ブリッジモード時の最小インピーダンスは、8Ω となります。

9. **ブリッジ/ステレオ・スイッチ**

モノラル 100W 出力で使用する場合は、スイッチを” BRIDGE” に設定してください。スピーカーの出力は、チャンネル 1 だけにして、チャンネル 1 のボリュームで音量をコントロールします。

2 台のスピーカーキャビネットをステレオで使用する場合には、ステレオモードを選択して下さい。このモードでは、両方のチャンネルは 50W ずつのアンプとして動作します、そして各チャンネルのコントロールは独立して調整可能です。各チャンネルにインピーダンス・スイッチが適切に選択されているかご確認下さい。

10. **グラウンドリフト・スイッチ**

アンプとプリアンプは、ハムノイズの原因となるグラウンドループを引き起こします。ボタンを押すと、グラウンド・リフトが作動し、ハムノイズが軽減できる場合があります。

11. **パラレル入力スイッチ**

スイッチを押すと、入力チャンネル 1 に接続されている信号を両方の入力チャンネルに分けます。この時、入力チャンネル 2 は機能しません。

12. **チャンネル入力**

プリアンプからの信号を入力してください。

ヘルプセクション

Q. アンプの電源が入らない。

まずアンプへの電源を確認します。ブレーカーが落ちていないか、電源コードが抜けていないか、電源タップのスイッチが切れていないか確認してください。次にヒューズを確認します。ヒューズが変色していたり、ガラス内に線が見えない状態であれば交換してください。アンプに問題がなくても高電圧のサージにより、ヒューズが飛ぶことがあります。また、ヒューズを交換してもすぐに飛んでしまう場合には販売店にご相談ください。

Q. 電源ランプは点灯するが、音が出ない。

真空管が破損していないかご確認ください。

Q. 見た目をきれいに保つためには

湿らせた布で、フロント/リアパネルおよびビニールカバーの汚れをふき取ってください。

セットアップ

ステレオ・セットアップ

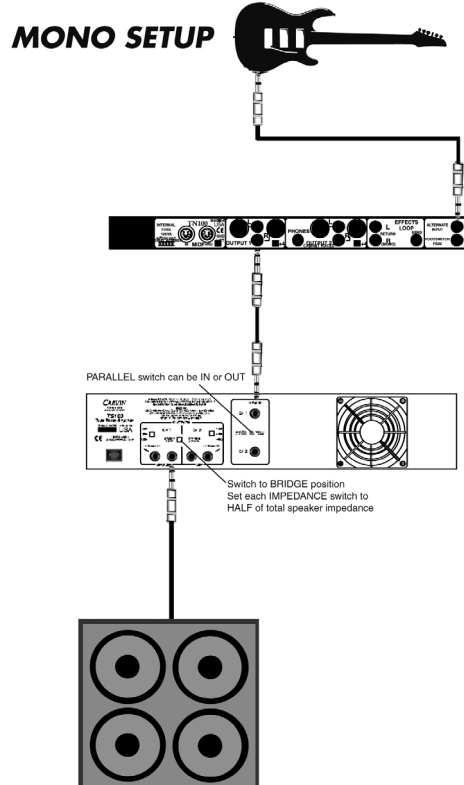
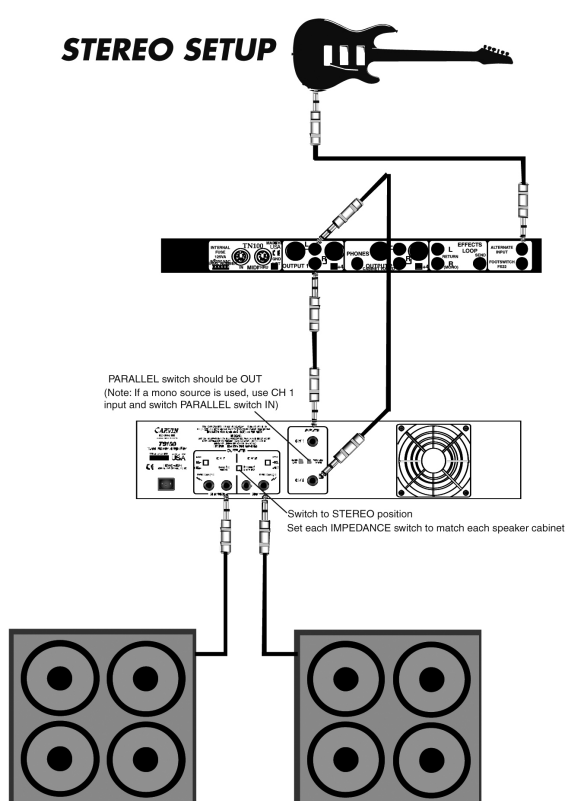
パラレルスイッチは切ってください。

(もし、モノラルソースを使用している場合、
入力チャンネル1とパラレルスイッチを入れて
使用してください)

ステレオの位置に切替えて下さい。各スピーカ
ーに合ったインピーダンス・スイッチを設定し
てください。

モノラル・セットアップ

パラレルスイッチをONかOFFどちらかに
設定してください。パワーアンプモード
をブリッジの位置に切替えてください。
スピーカーのインピーダンスの半分にな
るようにインピーダンス・スイッチを設
定してください。



パワー管のバイアス

(注意:500V近い電圧がアンプ内部に存在していますので、バイアス調整作業は、専門技術者に委託してください。)

TS100は、各チャンネルにEL34、または5881 (6L6GC)のどちらかをセットすることが出来ます。もし、各チャンネルに異なるタイプの真空管を使用している場合、アンプはステレオモードのみで使用してください。アンプ内部（パワー管のプリント基板部品側）には、各チャンネルに真空管タイプを選択するスイッチがあります。上記のスイッチには、異なる真空管のタイプを表示したマークがついています。微調整するために、これらのスイッチの近くにバイアスのポテンションメータがあります。アンプの両側は、設置した4つすべてのパワー管をバイアス調整しなければなりません。

- a) 出力トランスからQC2とQC16に接続されている赤いワイヤをプリント基板から外してください。
- b) 2つの電流計 (mA) が必要になります。プリント基板に各赤いワイヤと直列に電流計を挿してください。入力信号が無い場合、各出力トランスを通して電流を測定することが出来ます。高電圧が存在していますので、この線がシャーシなどに触れないように注意してください。
- c) バイアス選択スイッチがチューブのタイプに対して正しい位置である事を確認して電流計 (mA) をセットしてください。
- d) アンプに電源を入れて、スタンバイスイッチも入れてください。電流計で50mAまでバイアスポットを調整してください。アンプの電源を落として、スタンバイスイッチを入れたままにして、残留電圧を流してください。直列で接続した電流計をはずして、赤いワイヤをQC2とQC16に再び接続してください。
- e) 警告：アンプの電源を切って一定の間、電源キャパシターには500V近い電圧でチャージされている状態です。

(もし、電圧計しかない場合には、バイアス調整の代替方法として、上記で記載した電流計の代わりに1Ω 1/2Wの抵抗を使用してください。電流計の50mVは、50mAに相当します。残る手順は上記と同じです。)

製品仕様

定格電力	50W×2（ステレオ） 100W（ブリッジ）RMS
出力インピーダンス	4、8、16Ω（ブリッジ接続では8オームが最小）
プリアンプチューブ	12AX7 x 2本（入力バッファ）、12AX7 x 2本（位相反転回路）
パワーアンプチューブ	EL34 x 4本
消費電力	100-120VAC@300VA
サイズ、重量	48（W）×8.9（H）×25.4（D）cm、11.7kg

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より 1 年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

CARVIN